|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 14 | 地震　避難する際の注意点（４）留守にする場合はブレーカーを切って | 　げるときにすること（４）にするときは、ブレーカーをる |
|  | 避難するため自宅や事務所を留守にする場合、または外出先から家などに戻ったときは電気のブレーカーを切ってください。地震が起きると揺れの影響で電気の配線が傷むことがあります。停電している間は何も起きませんが、復旧したあと、配線の傷みが原因で火が出る場合があります。これは「通電火災」と呼ばれ、過去の災害でも数多く起きています。再び電気が通じたときに備えて、ブレーカーを切っておくと安全です。また、電気が復旧して間もない地域では、自分がいる建物や周辺で通電火災が起きる可能性もありますので、焦げくさいにおいなど火災の兆候がないか注意してください。 | などにって、をにする（のにだれもいない）は、のブレーカーを「」（OFF）にしてください。ブレーカーが「」（ON）になっていると、（がつかないこと）がなおったとき、がることがあるので、ブレーカーを「」（OFF）にしておくとです。また、のくでがきていないか、よくてください。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 14 | 地震　避難する際の注意点（４）留守にする場合はブレーカーを切って | 地震（じしん）　逃（に）げるときに注意（ちゅうい）すること（４）留守（るす）にするときは、ブレーカーを切（き）る |
| 避難するため自宅や事務所を留守にする場合、または外出先から家などに戻ったときは電気のブレーカーを切ってください。地震が起きると揺れの影響で電気の配線が傷むことがあります。停電している間は何も起きませんが、復旧したあと、配線の傷みが原因で火が出る場合があります。これは「通電火災」と呼ばれ、過去の災害でも数多く起きています。再び電気が通じたときに備えて、ブレーカーを切っておくと安全です。また、電気が復旧して間もない地域では、自分がいる建物や周辺で通電火災が起きる可能性もありますので、焦げくさいにおいなど火災の兆候がないか注意してください。 | 避難所（ひなんじょ）などに行（い）って、家（いえ）を留守（るす）にする（家（いえ）の中（なか）にだれもいない）場合（ばあい）は、電気（でんき）のブレーカーを「切（きる）」（OFF）にしてください。ブレーカーが「入（いり）」（ON）になっていると、停電（ていでん）（電気（でんき）がつかないこと）がなおったとき、火（ひ）が出（で）ることがあるので、ブレーカーを「切（きる）」（OFF）にしておくと安全（あんぜん）です。また、家（いえ）の近（ちか）くで火事（かじ）が起（お）きていないか、よく見（み）てください。 |